



ことしもおせわになりました。
よいおとしをおむかえください！

図書室だより

館林市立第一小学校図書館

2025年12月号



ふゆやす とくべつ
冬休みまえ特別かしだしをします

12月8日(月)からひとり4さつかりられます。

たの ふゆやす ほん よ
楽しい冬休みにたくさん本を読みましょう。

まな
えほんで学ぼう！SDGs

りく ゆた まも
15陸の豊かさも守ろう

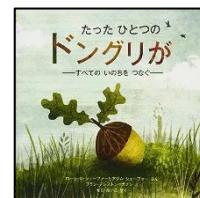
SDGsとは『私たちの未来を良くするための世界共通の目標』です。このコーナーでは、SDGsがめざす17のゴールにそった絵本を紹介します。

15
世界中にある森林は減っています。生物の多様性や貴重な天然資源を守るために、さまざまな森林保全対策が進められています。

□『たったひとつのドングリが すべての いのちを つなぐ』
(文:ローラ・M・シェーファー、アダム・シェーファー)

ひとつのドングリが、地面に落ちました。そのドングリから根が出て芽がのびやがて、森になって…。森は鳥の家になり、動物をよびます。そして動物は種を運び、種からはまた芽が出てきます。命の大きなつながりの中にわたしたち人間もいるのです。

参考文献『えほんで学ぶSDGs』(2022年 平凡社)



12月4日～12月10日は人権週間です
子どもには安心して自分らしく生きる当然の資格があります。そして、まわりのおとなは子どもの心と体の成長をたすけます。
☆「子どもの権利」について書かれた本をしようかいます☆

『きかせて あなたのきもち 子どもの権利ってしってる?』(長瀬正子・文)



自分の気持ちにむきあいながら読むことができます。



『はじめまして、子どもの権利条約』(川名はづ子・監修)

条約の文がわかりやすく、読みやすく書かれてる本です。

『きみがきみらしく生きるための子どもの権利』(甲斐田万智子・監修)
まえがきには「子どもの権利は子ども自身が知って、使ってこそ意味があります。すべての子どもたちが持つ大切な権利と一緒に学んでいきましょう」と書かれています。

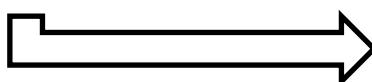
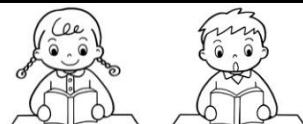


『すべての子どもたちのために』(キャロライン・キャッスル・文)

絵本のように読み進めていくうちに「みなさんに生まれながら そなわって いる権利とはなにか」がわかるように、書かれています。また、絵は世界中のたくさんの有名な画家がかいています。

読書感想画を募集します

「読書感想画」とは、本を読んで「おもしろい、楽しい、いいな！」と感じたことを表現した絵のことです。
ぜひ一枚の絵に表現してみてください。
描いた人は、1月7日の始業式に担任の先生に提出してください。
(寸法36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下の大きさ)



第37回読書感想画中央コンクール指定図書

【低学年の部】
『あいたくてたまらない』
『リリの思い出せないものがたり』
『ガラガラがらくた!』
『モリスくんとオレンジいろのドレス』

【高学年の部】
『いかだネコG氏のぼうけん』
『銀樹』
『ラナと竜の方舟：砂漠の空に歌え』
『ダンス・フレンド』



みなさんは『こんとあき』

(作:林明子)を読んだことがありますか? あきが生まれてからずっとといっしょにいたぬいぐるみのこん。ふたりがでんしゃで、さきゅうまちのおばあちゃんにあいにいくのですがこんが犬にされてしまい…! このこんとそっくりなぬいぐるみは手作りだそうです。



すばらしい!